

ら・そしあだより

令和8年10月号

秋分を過ぎ朝、夕の空気に少しずつ秋の深まりを感じるころとなりました。

10月8日ころには二十四節季の「寒露」を迎え、草花に冷たい露が降りる季節とされています。皆様におかれましては体調お変わりなくお過ごしでしょうか。ホームでも日中の散歩時には、色づき始めた木々や秋の草花を眺めたりしながら季節の移り変わりを楽しんでいきます。

さて、先月は毎年恒例の花火大会や地域のイベントに参加、中でも今年初参加の新川地区会館で開催された「ボッチャ」へ6名の利用者様が参加されました。総勢60名から70名参加されており、12組に分かれ対戦、はじめは少し緊張ぎみの利用者様も、ゲームが始まると真剣な表情でボールを投げられ「もう少しこっち、あそこを狙って！」とアドバイスが飛び交い、狙った場所に近づいたときに「やったー！」と歓声が上がりました。お互いに応援したり喜び合ったりと一致団結、ら・そしあチームと職員応援団、頑張りました。🍷

先日開催された敬老会では利用者様の長寿をお祝いし、昼食ではお寿司、午後にはケーキをいただきました。また、恒例になりました（笑）箱の中身はなんだろうなゲームと、全員で輪になって体操を行いました。一緒に歌ったり一緒に笑ったりと楽しい時間を過ごしました。これからも利用者様が笑顔で楽しい毎日を過ごしていただけるよう、職員一同努めてまいります。



寒暖差の大きい季節となりました。今年は例年より早い時期からインフルエンザの流行が始まっています。くれぐれもご自愛ください。面会時にはお気をつけてお越しください。